

GMO フィナンシャルHD

個人投資家向け会社説明会

STOCK CODE:7177

2017年11月19日

1. 企業グループの概要
2. 成長戦略と概況
3. 株主還元

1. 企業グループの概要

企業理念

金融サービスをもっとリーズナブルに もっと楽しく自由に

あらゆる金融関連商品・サービスをいつでも、どこでも
便利に取引できる世界の実現を目指しています

証券/FX

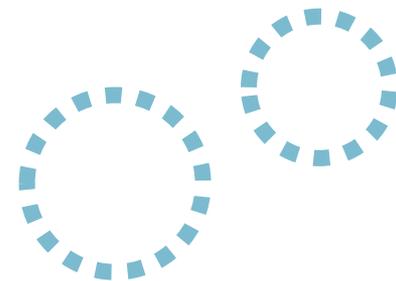
GMOクリック証券
FXプライム by GMO

仮想通貨

GMOコイン
(58.3%出資)

銀行

あおぞら信託銀行
(7.45%出資)



企業概要

商号	GMOフィナンシャルホールディングス株式会社 (旧GMOクリックホールディングス株式会社)	上場年月日	2015年4月1日
代表者	代表執行役社長 鬼頭 弘泰	1単元の株式数	100株
設立	2012年1月	株価 ^{※2}	724円
証券コード	7177 (東証JASDAQスタンダード)	時価総額 ^{※3}	862億円
グループ事業概要	ネット証券事業、FX事業		
主要株主/ 持株比率 ^{※1}	GMOインターネット株式会社 80.75%		
連結子会社数	8社 (国内3社・海外5社)		
資本金 ^{※1}	582百万円		
連結従業員数 ^{※1}	344名		

※1：2017年9月30日現在、※2：2017年11月10日終値
※3：2017年11月10日終値を用いて算出

安さと使いやすいサービスを武器に成長。海外でも事業を展開



2005年10月
GMOインターネット証券
(現GMOクリック証券)設立

2005

2006

2006年5月
オンライン証券取引サービス開始
2006年10月
店頭FX取引サービス開始



香港
進出

2012年8月
香港子会社でFXサービス
提供開始

2012

2010

2010年4月
CFD取引サービス開始
2012年1月
GMOクリックHD設立

FXプライム by GMO



2012年9月
FXプライム (現FXプライム
byGMO) を連結子会社化

2015

2015年4月
GMOクリックHD
(現GMOフィナンシャルHD) 上場
(東証JASDAQ)



ロンドン
進出

2015年3月
英国子会社でFX・CFDサービス
提供開始

タイ王国
進出

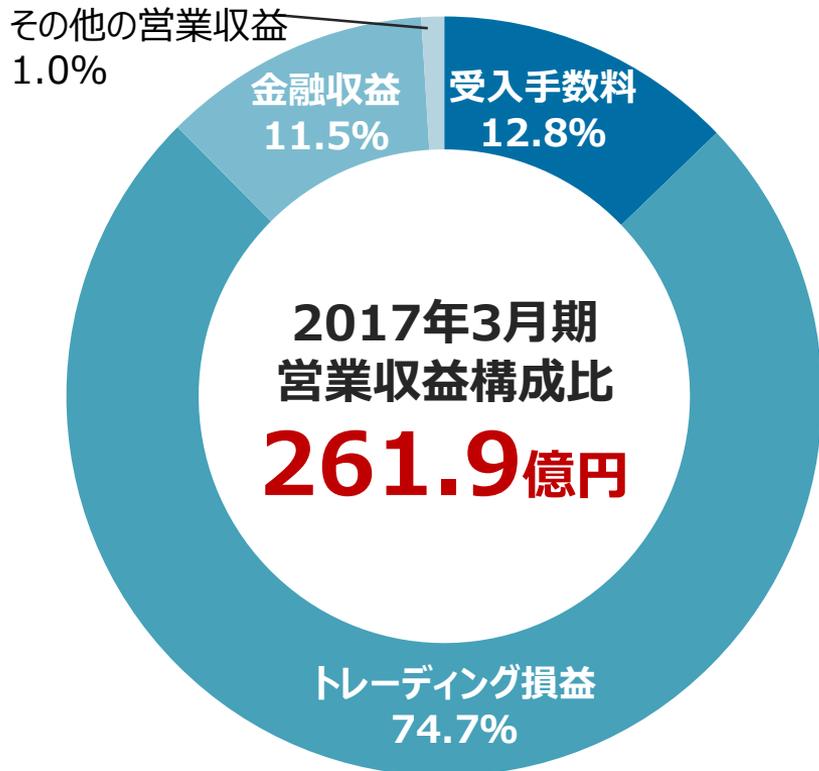
ネット証券サービス
今秋開始予定

2017

2016

2016年2月
新FXシステム稼働開始

FXなどの店頭デリバティブ取引が収益を牽引



受入手数料 **33.5億円**

- 株式取引、先物オプション取引、取引所FX取引等から得られる収益

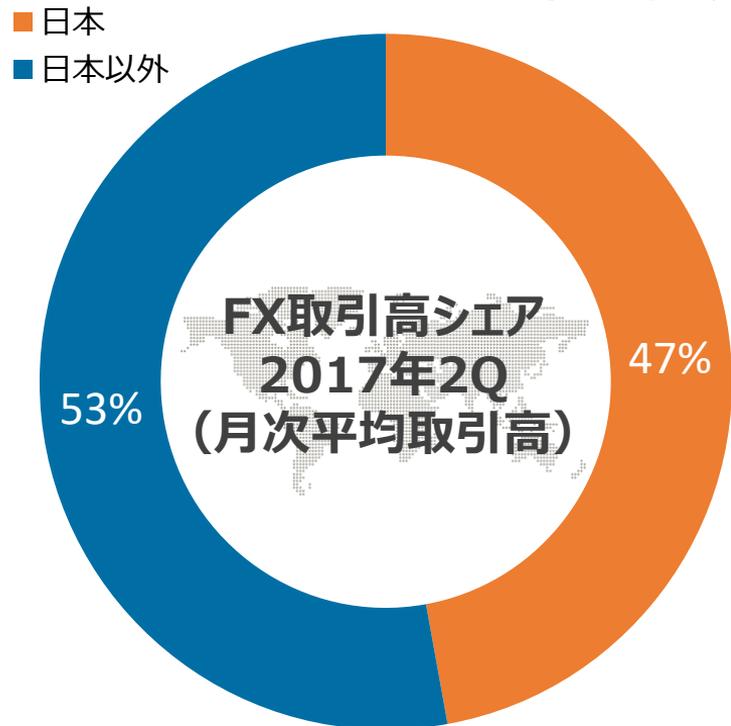
トレーディング損益 **195.7億円**

- 店頭FX取引、CFD取引、外為オプション取引等から得られる収益

金融収益 **30.1億円**

- 信用取引等から得られる収益

日本の個人投資家によるFX取引は世界の約半数を占める 日本は世界で一番大きなマーケット



日本におけるFX発展の背景

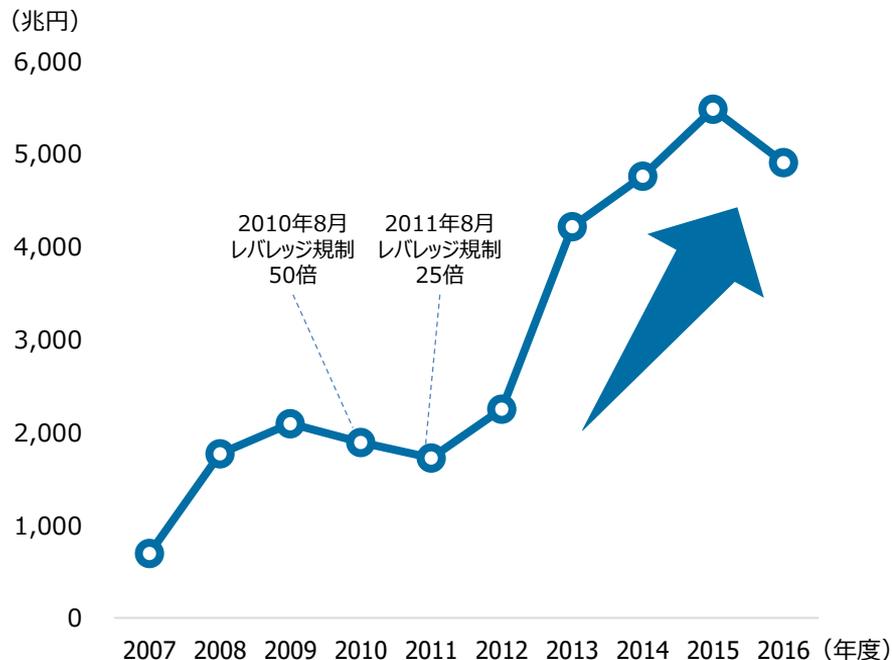
株式投資と比較し、投資対象の選定が容易

少ない資金でレバレッジを効かせた取引が可能

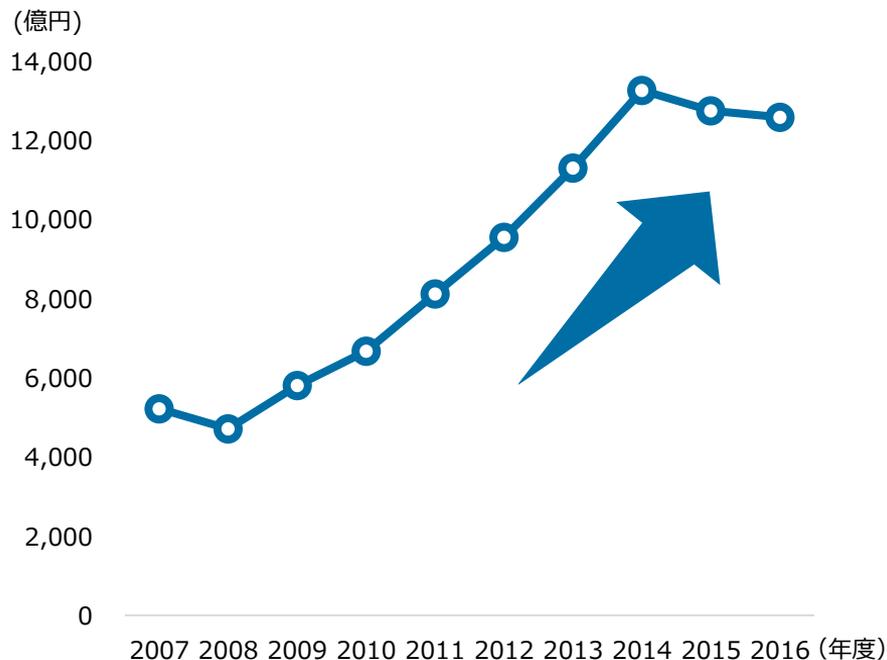
24時間取引可能で、投資機会が多い

国内店頭FX市場は大きく成長

取引金額



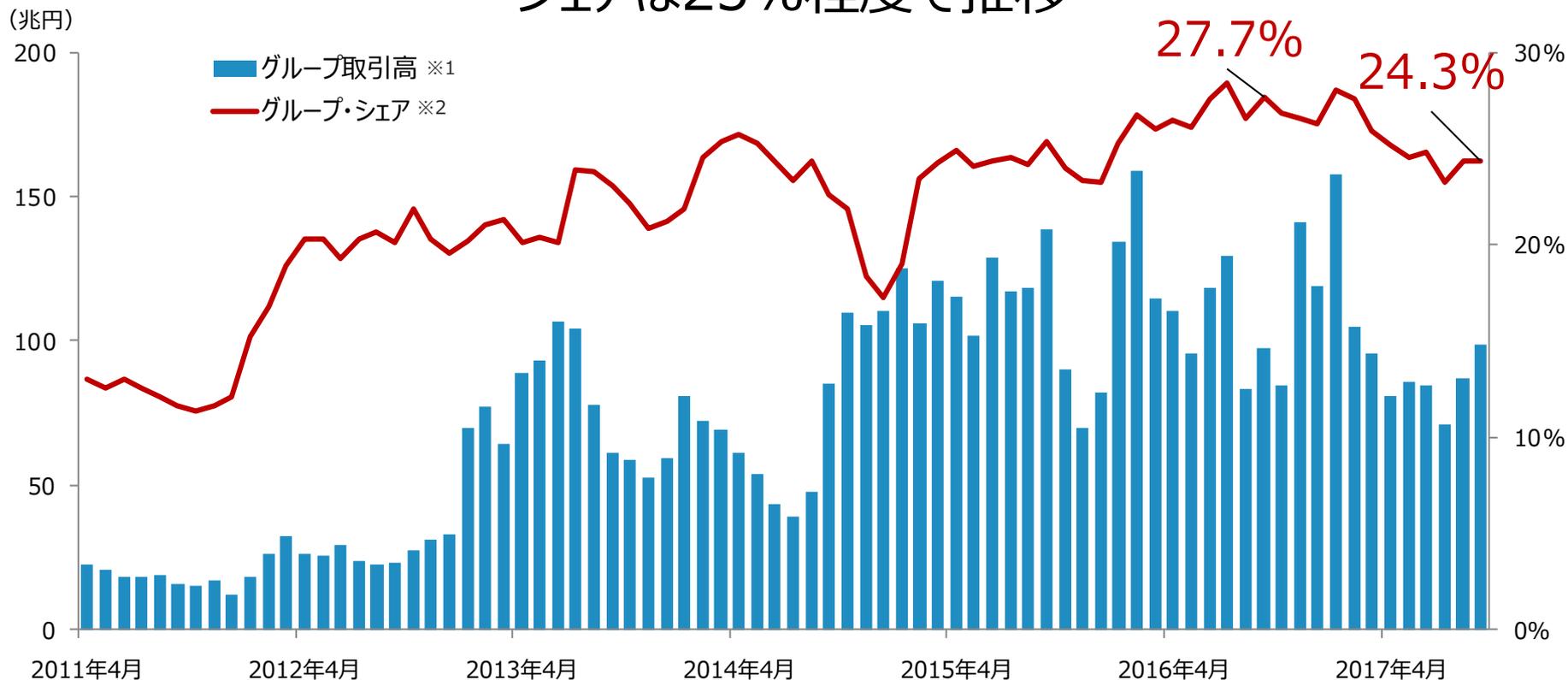
預り証拠金残高



金融先物取引業協会公表資料より当社作成

国内店頭FXにおける当社グループ取引高・シェアの推移

シェアは25%程度で推移



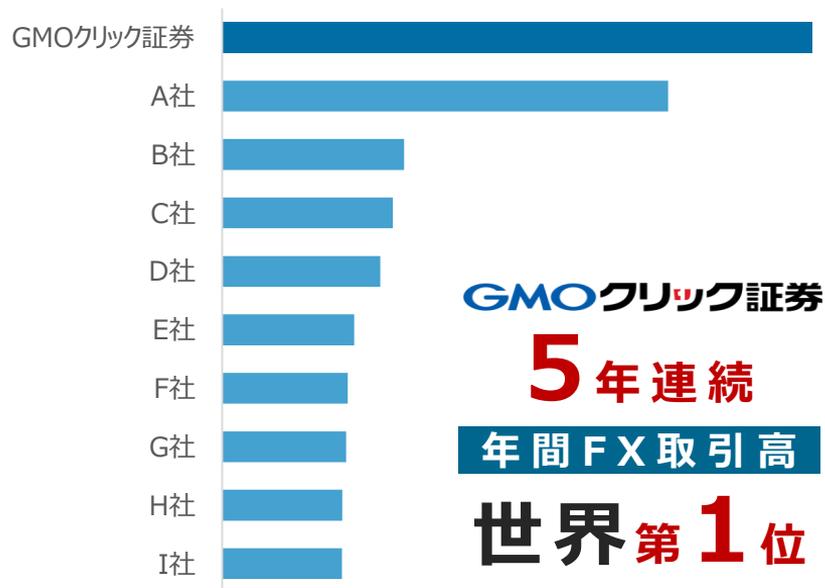
当社データ及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

※1 2015年2月以前の店頭FX取引高はGMOクリック証券単体数値。2015年3月以降は、GMOクリック証券、FXプライムbyGMOの取引高合計値

※2 グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として算出

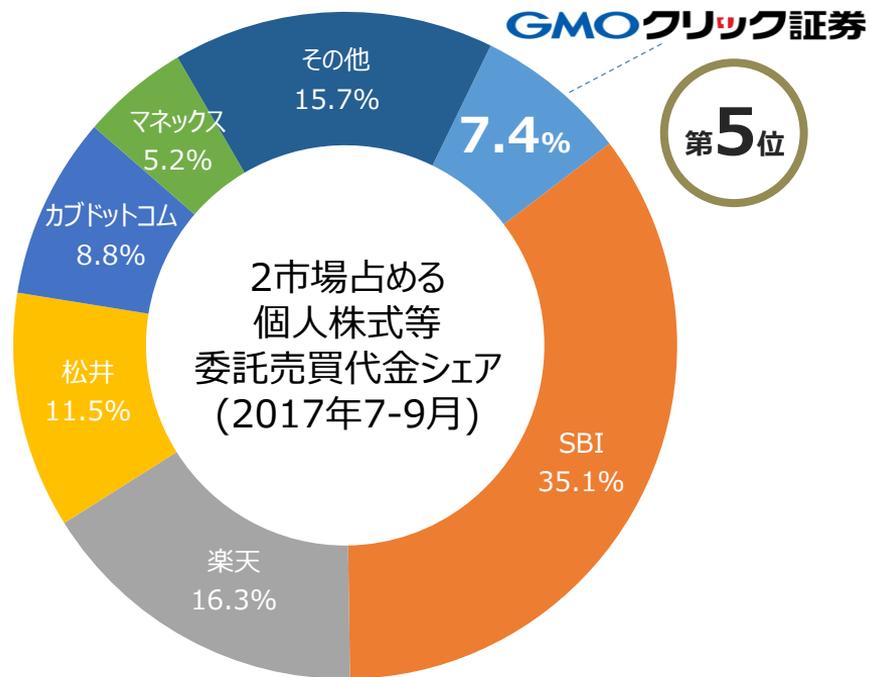
FX会社比較

2016年世界上位10社のFX取引高



Finance Magnates「2016年年間FX取引高調査報告書」において、2016年1～12月のFX取引高（売買代金/ドル換算）1位を獲得

主要ネット証券比較



日本取引所グループ、各社公表資料より当社作成
※株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア

高い技術力を強みにシステムの開発・保守・運用を内製化

- システム内製化により、システム開発コストを低減。価格競争を起こし顧客基盤・マーケットを拡大
- 顧客ニーズ・マーケットの変化にスピーディに対応

安さ

業界最安値水準の
手数料・スプレッド



使いやすさ

簡単操作・高機能
取引ツール

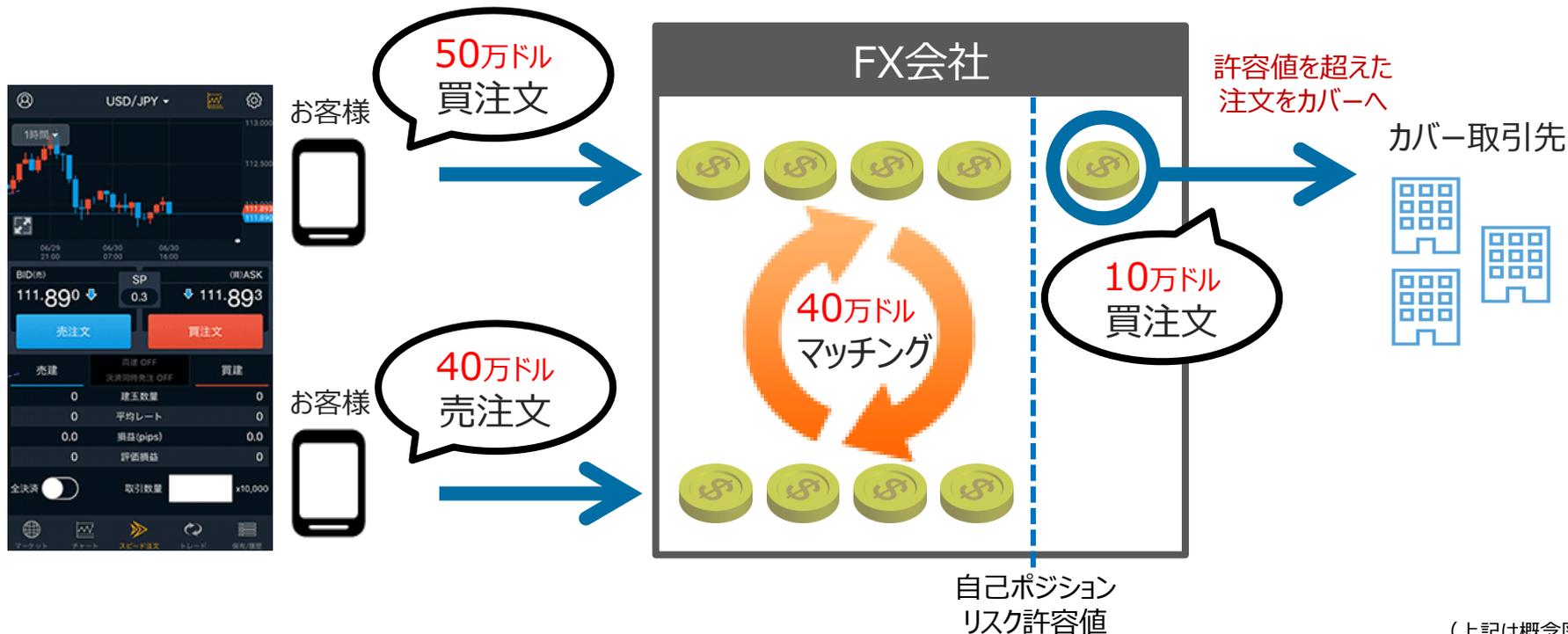


FX取引高世界No.1を支えるビジネスモデル

効率的なマッチングと徹底したリスク管理を追求

対顧客取引

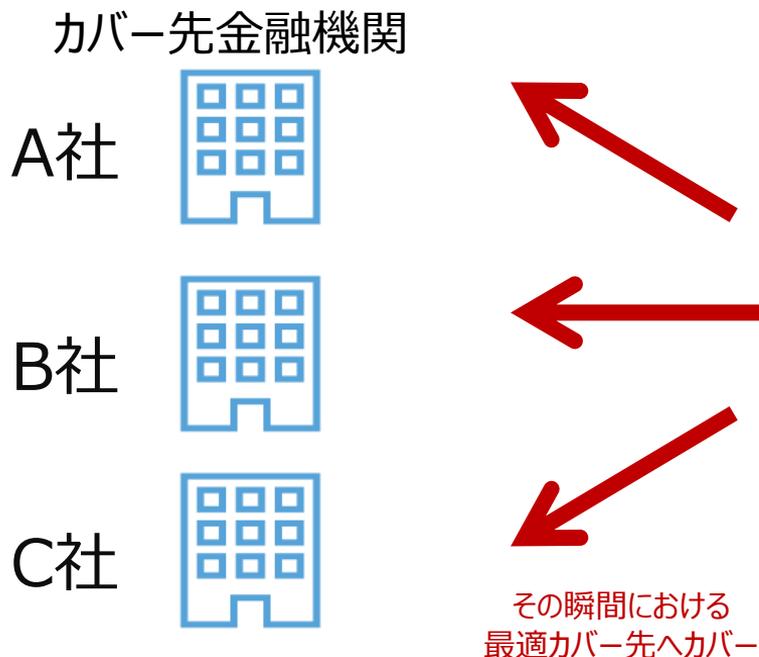
カバー取引



(上記は概念図)

FX取引高世界No.1を支えるビジネスモデル

当社グループはFXディーリング業務をシステムにより完全自動化
上手にシステム設定をして、カバー取引を最適化

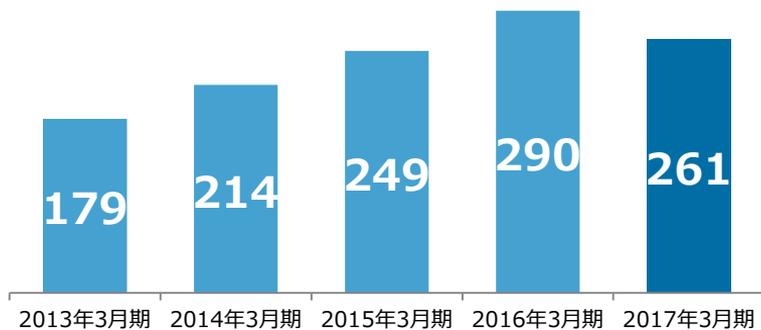


(上記は概念図)

業績推移

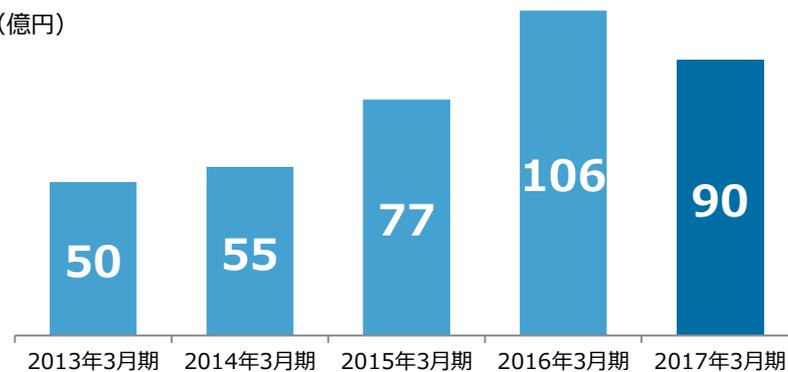
営業収益

(億円)



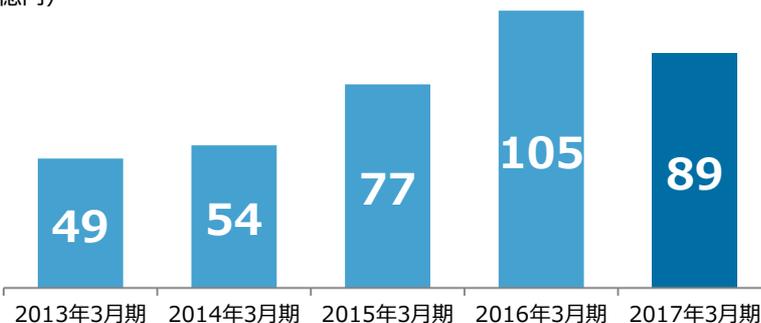
営業利益

(億円)



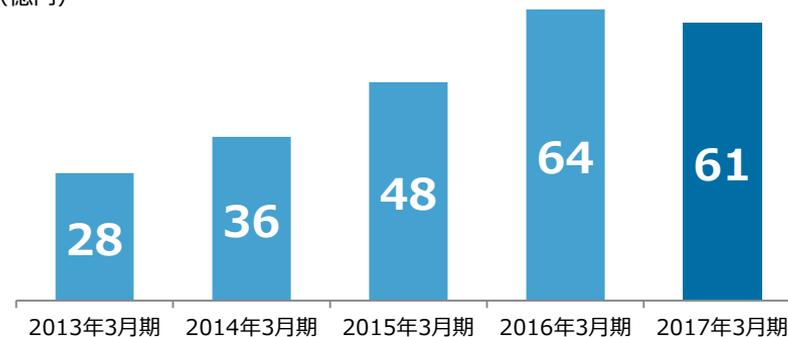
経常利益

(億円)



親会社株主に帰属する当期純利益

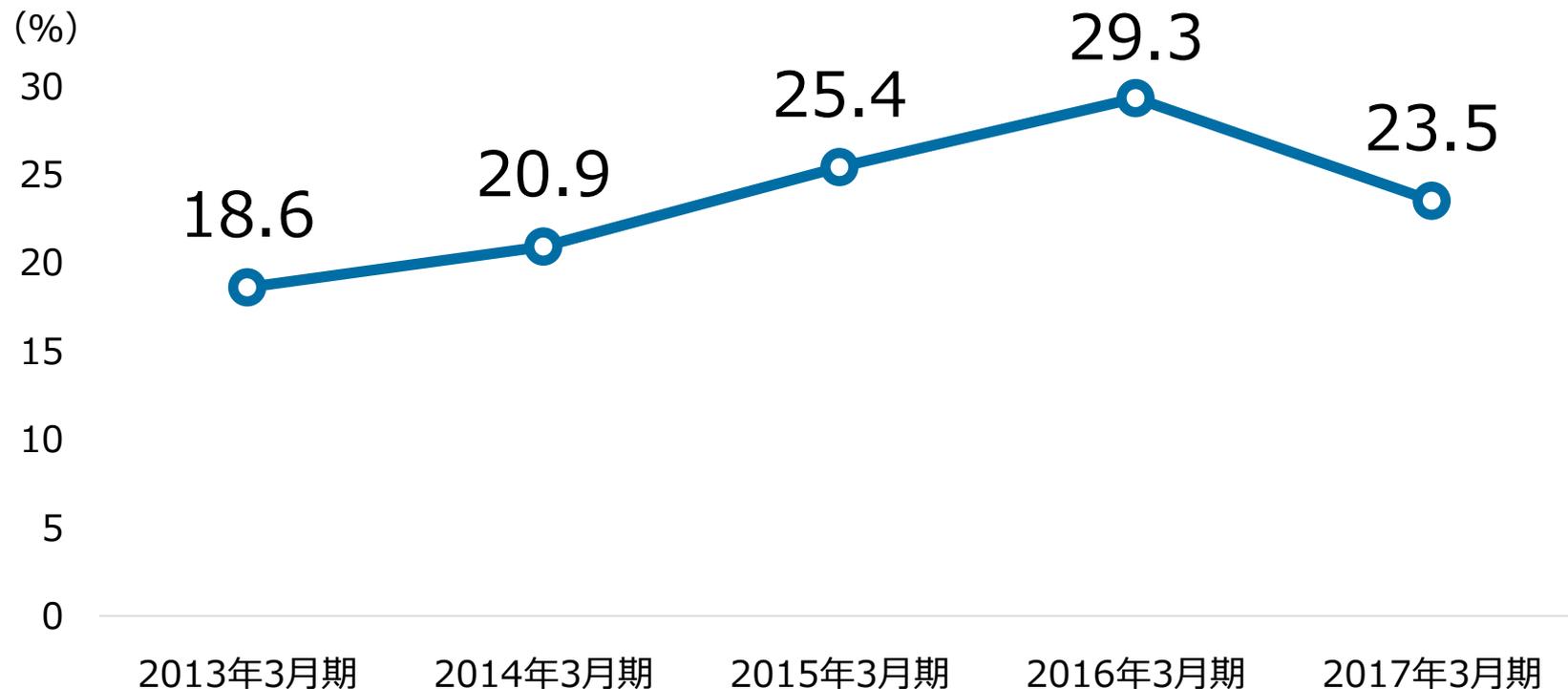
(億円)



※当社は、第7期より、3月決算から12月決算へと決算期を変更いたしました。決算期変更の経過期間となる第7期（2017年12月期）は、2017年4月1日から2017年12月31日までの9か月決算となります。

ROE（自己資本当期純利益率）の推移

2014年3月期よりROE20%超で推移



2. 成長戦略と概況

強いものをより強くする

収益の柱であるFXをさらに強くし、

事業基盤を強化

既存事業（国内・海外）、

新規事業へ投資し成長を図る

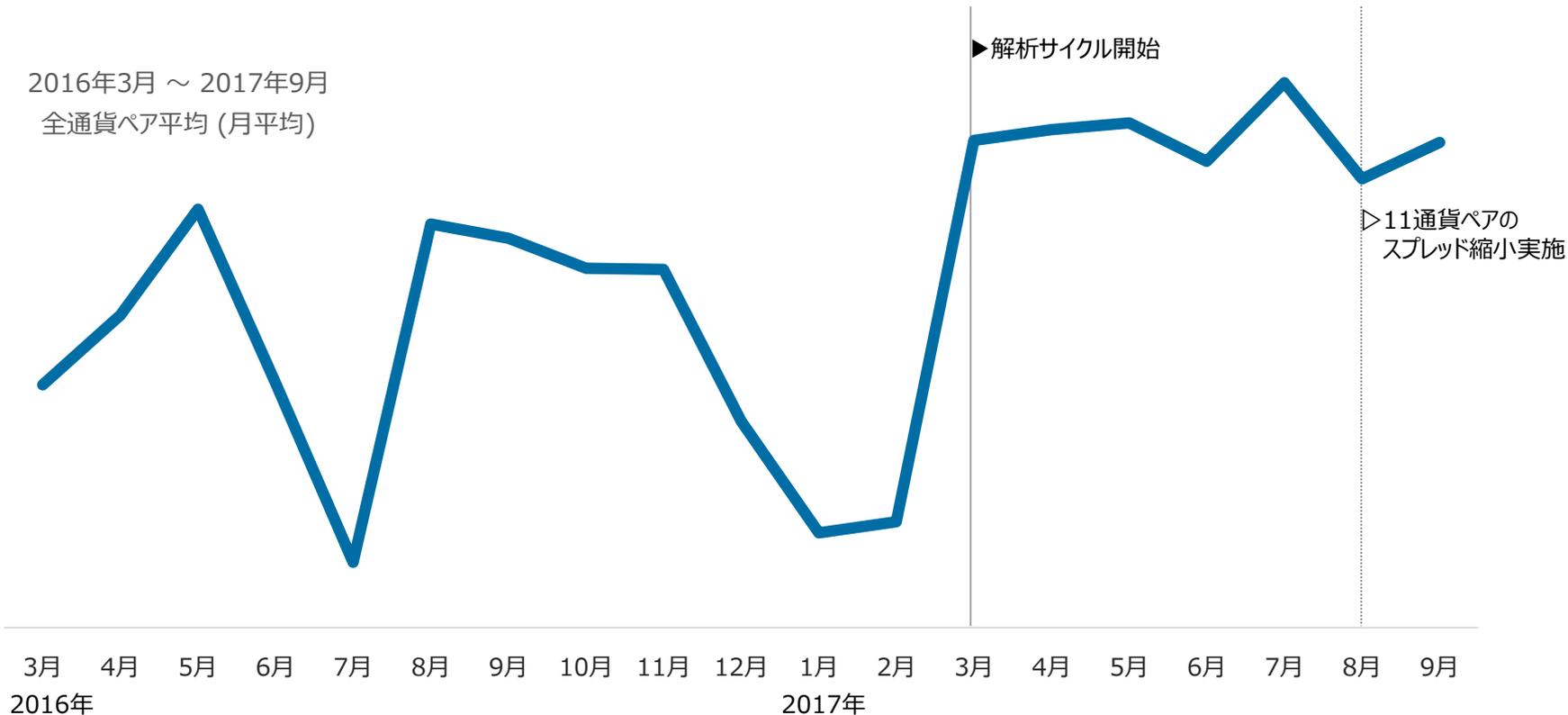
ビッグデータ解析基盤構築し、より高度な分析で収益率向上に取り組む



関わるデータサイエンティスト
6名 (博士 4名)

ビッグデータ解析開始以降、スプレッド収益率[※]は改善傾向で推移

2016年3月 ~ 2017年9月
全通貨ペア平均 (月平均)



[※]スプレッドに対しどれだけの比率で収益が出ているかを示す指標。スプレッド0.3に対して収益が0.15であれば、スプレッド収益率は50%

新商品・サービス強化

- 新商品・サービスの拡充に注力し、サービスの使いやすさを強化



銀証連携

- あおぞら銀行グループとGMOインターネットグループの新ネット銀行との銀証連携で、使いやすさ強化し顧客基盤拡大を図る

GMO あおぞらネット銀行
(現あおぞら信託銀行株式会社)

社名変更：2018年6月予定
開業時期：2018年7月予定

※当局認可を前提にあおぞら信託銀行の2017年10月19日開催の臨時株主総会にて社名変更が決議。
同日開催の同社取締役会において事業開始時期が決定
※2017年10月25付で、社名変更に関する金融庁許可を取得

将来への投資として海外事業を推進



タイ王国でのネット証券事業は、
2017年11月に開始予定

Z.com Securities

Z.com

GMOインターネットグループのグローバルブランド「Z.com」のもと、海外事業を展開

GMOインターネットグループのグローバルブランド「Z.com」 アジア圏でサッカーマーケティングを展開

Z.com



日本代表
香川真司選手



タイ代表
チャナティプ・ソングラシン選手



ミャンマー代表
チョー・コー・コー選手



ベトナム代表
グエン コン フォン選手

仮想通貨レバレッジ取引、仮想通貨売買を行えるサービスを提供する
GMOコインを連結子会社化 (58.3%)



GMOコイン

- レバレッジ原則5倍
- スマホアプリ対応
- 24時間365日取引可

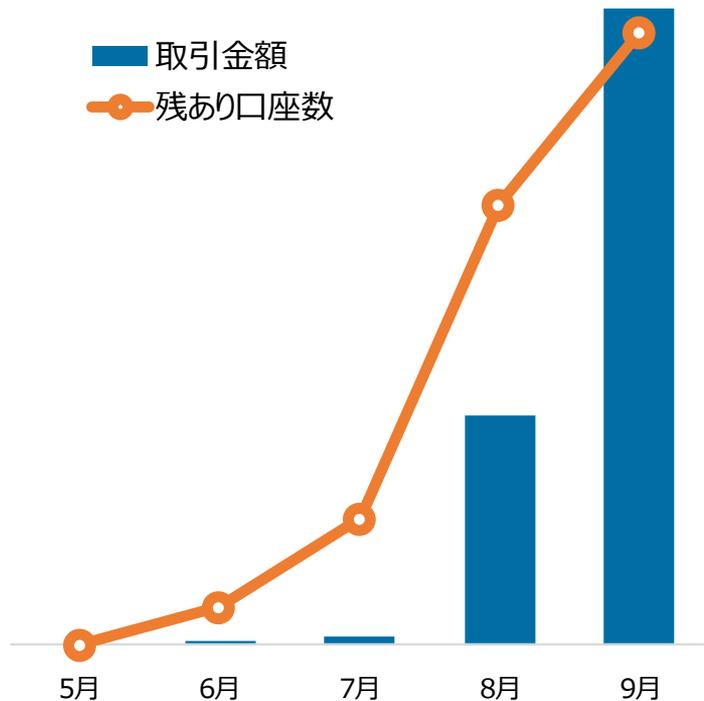


9/29
金融庁より、
仮想通貨交換業者
として登録

店頭FXで培ったノウハウを活用し成長を加速

GMOコインの主要KPI推移

今後の展望



● 取扱通貨とサービスの拡充

現在

ビットコイン
イーサリアム
ビットコインキャッシュ
ライトコイン

11月(予定)

リップル

12月(予定)

イーサリアムクラシック

- アルトコインのレバレッジ取引を提供予定
- GMOインターネットが展開するマイニング事業と連携することも視野（時期未定）

3. 株主還元

基本方針：株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うこと

目標

連結配当性向

50% (年4回配当)

1株当たり 配当金	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2017年 12月期	6.90円	8.50円	-	-	-
2017年 3月期	9.70円	6.15円	6.68円	3.64円	26.17円

※決算期変更の経過期間となる第7期（2017年12月期）は、2017年4月1日から2017年12月31日までの9か月決算となります。

優待の内容

GMOクリック証券 における

1. 売買手数料相当額最大15,000円キャッシュバック
2. GMOフィナンシャルHD株式買付手数料相当額キャッシュバック
(最大10,000円)

優待基準日

2017年6月末日

※2017年12月末日基準でも実施予定

株主優待の詳細は当社ホームページにてご確認ください。
<https://www.gmofh.com/ir/stock/benefit.html>

- 技術力を強みにシステムを内製化。安くて使いやすいサービスで成長
- FX取引高は、5年連続で世界No.1
- 株式は大手ネット証券の一角。今後さらに伸ばす
- 主力のFXを更に強化し既存/新規事業へ投資、持続的成長図る
- 連結配当性向の目標は50%（年4回配当）

Appendix

会社概要

会社名	GMOフィナンシャルホールディングス株式会社 (GMO Financial Holdings, Inc.)
所在地	東京都渋谷区桜丘町20番1号
代表者	代表執行役会長 高島 秀行 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
事業内容	金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理ならびにこれに 附帯する業務
設立	2012年1月
資本金	582百万円 (2017年9月30日現在)
主な連結子会社	GMOクリック証券株式会社 株式会社FXプライムbyGMO GMOコイン株式会社 GMO-Z.com Forex HK Limited (香港) GMO-Z.com Bullion HK Limited (香港) GMO-Z.com Trade UK Limited (英国) GMO-Z com Securities (Thailand) Limited (タイ王国)
連結従業員数	344名 (2017年9月30日現在)

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
証券コード	7177
上場日	2015年4月1日
事業年度	1月1日～12月31日 ※決算期変更の経過期間となる第7期は、4月1日～12月31日となります。
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL：0120-232-711（通話料無料） 受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9：00～17：00
各種事務手続き	株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/ なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。
公告方法	電子公告 公告URL https://www.gmofh.com/ ※ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式の状況

■ 大株主の状況

株主名	所有株式数（株）	持株比率（％）
GMOインターネット株式会社	96,243,100	80.75
株式会社大和証券グループ本社	11,100,000	9.31
高島 秀行	1,143,975	0.95
カブドットコム証券株式会社	828,400	0.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	798,400	0.66

■ 所有者別分布状況

株式数（株）		比率（％）	株主数（人）		比率（％）
金融機関	1,379,700	1.15	金融機関	7	0.06
金融商品取引業者	1,204,748	1.01	金融商品取引業者	27	0.25
その他の法人	107,529,301	90.22	その他の法人	50	0.46
外国法人等	696,038	0.58	外国法人等	46	0.42
個人・その他	8,372,830	7.02	個人・その他	10,608	98.78

※2017年9月30日現在

https://www.gmofh.com/ir/

GMOフィナンシャルHD お問い合わせ English

ホーム 会社情報 グループ紹介 **IR情報** ニュースリリース 採用情報

IR情報 ホーム > IR情報

IR情報

- ▶ 経営方針
- ▶ IRニュース
- ▶ 月次開示情報
- ▶ 財務・業績ハイライト
- ▶ IR資料室
- ▶ IRカレンダー
- ▶ 株式情報

最新IRニュース 一覧を表示

2017年11月06日 お知らせ
月次開示情報を更新しました。

2017年11月06日 リリース
平成29年10月の月次開示情報（速報）に関するお知らせ (157KB)

2017年11月02日 決算情報
(訂正・数値データ訂正)「平成29年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について (189KB)

業績に影響を及ぼすFX取引高や株式委託売買代金、顧客口座数等の営業指標や営業収益を月次開示情報として毎月開示しています。

また、決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

免責事項

本資料には、将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。

また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。